

令和6年度 「川西町・三宅町式下中学校組合における協働推進事業」で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

| 実施自治体名         | 課題の類型1    | 課題の類型2         | 背景・現状・課題の詳細                                | これまでの取組状況                              | 左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組 | 本事業で達成する目標(アウトカム)     | 目標の達成度を測る指標                                 | 現状の数値             | 単位 | 本年度目標値 | 本年度実績値             | アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)   |
|----------------|-----------|----------------|--|--|-----------------------------|-----------------------|---|-------------------|----|--------|--------------------|--|
| 川西町・三宅町式下中学校組合 | ③学校と家庭の課題 | 家庭等における学習習慣の定着 | 学校以外の場所で学習する習慣がない生徒が増加しており、相対的に学力の低下がみられる。 | 学習習慣の定着がみられない生徒に対して、教員が指導し、改善に取り組んできた。 | 地域未来塾で学習支援を実施し、学習習慣の定着を図る。  | 学校以外の場所で学習する生徒数が増加する。 | 全国学力・学習状況調査生徒質問紙調査で、1日の勉強時間が30分未満と回答する生徒の割合 | 21.6<br>(県平均+4.6) | %  | 県平均以下  | 41.7<br>(県平均+22.1) | 夏休みに教育実習を予定している大学生に来ていただき、基礎学力の定着及び学習習慣の定着を目的にサマースクールを開講した。延べ40人と参加人数が昨年度より減少したが、学習が停滞気味の生徒に対して成績が感じられた。<br>しかし、放課後の教室では大学生の学習支援員を確保することができず、教員のみで指導を行った。人材の確保ができず、年間を通じた手厚い学習支援体制を整備できず、目標値を達成することことができなかった。<br>次年度は、人材募集の方法を見直し、取り組みを改善する。 |